

土壌診断結果の見方

土壌診断結果

| | | | | | |
|------|------------------------|---------|-----|----------|-----|
| 受付日: | 圃場名 施設野菜 | 面積 | リン吸 | 622 (低い) | 発行日 |
| 氏名 | 作物名 ミニトマト | 土壌型 低地土 | CEC | 25 (高い) | 担当者 |
| 住所 | <ハウス(促成、半促成長期どり、夏秋どり)> | 土性 壤土 | 腐植 | 4 % (富む) | 分析者 |

| 基本分析 | 分析値 | 基準値 |
|--------------------------------|-------------|---------------|
| pH _(H₂O) | 6.7 | [6.0 - 6.5] |
| EC(mS/cm) | 0.60 | [< 0.8] |
| 石灰(mg/100g) | 476 | [350 - 490] |
| 苦土(mg/100g) | 83 | [25 - 45] |
| カリ(mg/100g) | 156 | [15 - 30] |
| リン酸(mg/100g) | 142 | [20 - 30] |

| 養分バランス | 分析値 | 基準値 |
|----------|-------------|-------------|
| 石灰飽和度(%) | 68 | [60 - 70] |
| 苦土飽和度(%) | 16.7 | [< 20] |
| カリ飽和度(%) | 13.3 | [< 10] |
| 塩基飽和度(%) | 98 | [60 - 80] |
| 石灰・苦土比 | 4.1 | [4 - 8] |
| 苦土・カリ比 | 1.3 | [2 <] |

| 特別分析 | 分析値 | 基準値 |
|----------------|-------------|---------------|
| 銅 (ppm) | 1.7 | [0.5 - 8.0] |
| 亜鉛 (ppm) | 29.8 | [2 - 40] |
| マンガン (ppm) | 182 | [50 - 500] |
| ホウ素 (ppm) | 2.8 | [0.5 - 1.0] |
| 硝酸態窒素(mg/100g) | 7 | [5 - 10] |

* 基準値は施肥前の値になっています。

| 土壌改良資材 | | 施肥設計(基肥量) (kg/10a) | |
|--------|-----|--------------------|-------|
| 成分 | 基肥 | 施肥標準 | 施肥対応後 |
| 窒素 | ... | 10.0 | 10.0 |
| リン酸 | ... | 20.0 | 0.0 |
| カリ | ... | 40.0 | 20.0 |
| 苦土 | ... | 5.0~6.0 | 0.0 |

施肥対応

pH...やや高くなっています。
 苦土、カリ、リン酸...作土中に充分含まれています。
 苦土・カリ比は低い...苦土の欠乏症が生じやすいので、気を付けて下さい。
 ホウ素...作土中に充分含まれています。
 *pHの分析値は、ECの分析値で補正してあります。

◆ ◆ 留 意 事 項 ◆ ◆

窒素とカリは第3花房開花期から各花房開花ごとに追肥する。
 1回目の追肥量は窒素2kg/10aで、カリが0kg/10aです。
 2回目以降の追肥量は窒素2kg/10aで、カリが0kg/10aです。
 なお、草勢が旺盛な場合は追肥を控える。

株式会社丹波屋 常務取締役 肥料部長 豊嶋博美



pH
 溶液中の水素イオン濃度[H⁺]を表します。濃度が高くなるほど、pHの値は低くなります。

EC
 電気がどのくらい流れるかを表した値です。塩類濃度の指標となります。ECは通常、硝酸態窒素が多いと、高くなる傾向にあります。

リン吸
 土壌がリン酸を固定して、不溶性リン酸にする力です。高いほど、リン酸を固定しやすい土になります。

CEC
 保肥力、つまり施肥した肥料を蓄える力です。値が高いほど、保肥力が高いといえます。

石灰、苦土、カリ
 土壌に含まれる石灰・苦土・カリの量です。交換性塩基ともよばれ、土壌中でpHを下げる原因である[H⁺]と交換されます。

リン酸
 土壌に含まれるリン酸のうち、作物が吸収利用可能な有効態リン酸の量です。

石灰、苦土、カリ、塩基飽和度
 CECに対して、どれだけ交換性塩基(石灰、苦土、カリ、その和)で満たされているかを割合(%)で表したものです。

石灰・苦土比、苦土・カリ比
 土壌中の交換性石灰と交換性苦土、交換性苦土と交換性カリのバランスです。

銅、亜鉛、マンガン、ホウ素
 土壌に含まれる各種微量元素の量です。

硝酸態窒素
 土壌に含まれる窒素量です。露地では熱水抽出性窒素を、施設では硝酸態窒素を測定します。

腐植
 広い意味で土の中の有機物の量を表します。値が高いほど、有機物が多く、物理性や保肥力を良くします。

施肥対応量
 土壌分析の値に基づき、施肥対応をした後の値です。「北海道施肥ガイド2015」に基づいています。

施肥標準量
 各作物の年間施肥量または基肥量です。「北海道施肥ガイド2015」に基づいています。

土壌改良資材欄
 分析結果から、値を適正にするために必要な土壌改良資材の量を計算したものです。

コメント欄
 分析結果に基づいて、バランスの良い土にするための対応策です。